

学生海外派遣プログラム実施報告書

所属学科：創成科学研究科

氏名：安田 敏弘

派遣期間：2019年3月12日～2019年3月20日

派遣先：台湾 台湾師範大学

1. はじめに

私は、2019年3月12日～2019年3月20日の9日間、台湾師範大学において行われたスプリングプログラムに参加しました。海外へ留学することは初めてで貴重な経験になりました。現地のTAさんや学生の皆さんはとても親切でとても充実した9日間を過ごすことができました。

今回のプログラムの日程について下に記載いたします。

- 1日目：出国、ウェルカムパーティー
- 2日目：講義（数学、化学）
- 3日目：講義（地学、生物学）
- 4日目：台北市内観光
- 5日目：フィールドワーク（九分）
- 6日目：フィールドワーク（台中）
- 7日目：フィールドワーク（南投）
- 8日目：講義（情報セキュリティ）、プレゼンテーション
- 9日目：帰国

2. 台湾の大学と講義について

今回訪問させていただいた台湾師範大学はキャンパスの数も多く、在籍学生の国籍も様々でグローバルな大学だと感じた。またほとんどの学生は英語を日常的に使うことができ、中には日本に大変興味を持ち日本語を話せる学生もいて驚いた。

今回受けた講義は自分自身の専門でないものが多くあったが、講義内容の多くはゲーム形式でありただ座って受けるものではなかったため、非常に興味を持つことができた。また講義はすべて英語で行われ、はじめは聞き取るのに苦労したが段々と慣れてきて聞き取れるようになった。どの講義もとても楽しく思い出に残るものになった。



図 1： 講義で作成したビーズのボール（左）



プレゼンテーション後の全体写真（右）

3. フィールドワーク

3日間のフィールドワークでは九分、台中、南投の3か所へ行った。九分は観光名所として有名で狭い敷地の中に様々な店が立ち並び幻想的であった。台中と南投では台湾の豊かな自然に触れながら、台湾で起きた大規模な地震について学んだ。大規模な地震の爪痕は今も残っており天災の脅威をまじまじと感じた。日本でも南海トラフ地震が数年の間に起こるといわれており他人ごとには思えなかった。

また、9日間の中で台湾の料理や文化に触れ、日本とは大きな違いがあることも学んだ。異国の文化に触れるのも楽しいと感じた。



図 2： 九分での一枚（左）



地震で壊れた校舎（中）



ターンテーブルで食べた晩御飯（右）

4. 最後に

今回のプログラムで非常に貴重な経験ができ、自分自身の視野が広がったと感じた。この経験を私の今後の人生に活かしていけるように尽力していきたい。

最後に、お世話になった山口大学関係者の方々、関西学院大学関係者の方々、台湾師範大学関係者の方々に心より感謝申し上げます。